

令和6年度軽井沢町追分宿郷土館企画展

奇才！河村目呂二のアーティスト人生

～大正モダンの東京から戦後追分での日々～

展 示 目 録

2024. 7. 20—2024. 9. 16

協力：内山 舞 氏、内山 朋彦 氏、河村目呂ニライブラリィ

・展示作品・写真等は河村目呂ニライブラリィ所蔵です。

・各項目ごとに、展示順に標記しています。※印は関係資料です。

〈淡彩画・俳画・画帖・スケッチ 等〉

1	「有恵留可夢」(ウエルカム)	色紙淡彩・額装	1935 (昭和10) 年頃	27.0×24.0 cm
2	「のぞけば霧の下も峰」	紙本淡彩・軸装		136.6×22.6 cm
3	「むしさえるばかりのつきをゆく」	紙本淡彩・軸装		123.0×22.2 cm
4	「百猫図」	紙本淡彩・軸装		130.0×64.2 cm
5	(鬼と桃太郎)	紙本淡彩・軸装		128.0×42.0 cm
6	自画賛「蟻はせつせと稼いでいる」	紙本淡彩・額装		34.6×46.0 cm
7	自画賛「ねこの子も恋しらぬ間ぞ人の愛」	紙本淡彩・額装		38.0×44.0 cm
8	「茸はおどる」	紙本淡彩・額装		34.0×34.0 cm
9	あけび画賛「子ども一人かりて山みち」	紙本淡彩・額装		33.0×43.6 cm
10	(岩がけの緑)	紙本淡彩・額装		31.5×31.5 cm
11	「閉停籠独誌 上 (ヘテロドックス)」	和本		全28頁
12	「閉停籠独誌 下 (ヘテロドックス)」	和本		全28頁
13	「芽ぶく追分」	和本	1945 (昭和20) 年頃	全44頁
14	「春の山」	折帖	1937 (昭和12) 年	16.0×462.0 cm
15	「秋色碓氷嶺」	折帖	1934 (昭和9) 年	22.2×1248.0 cm 全49点
16	スケッチ5「追分附近」	スケッチ帖	1948 (昭和23) 年	全57点
17	スケッチ18「鬼押出し 追分日々」	スケッチ帖	1955 (昭和30) 年	全64点
18	スケッチ26(軽井沢駅から碓氷峠)	スケッチ帖	1956~1958 (昭和31~33) 年	全46点
19	(きのこづくし)	紙本淡彩		11.4×141.0 cm
20	「きのこ帖」	和本		全98頁
21	「自然薯ほってみるといふ道きいて火かりて」	色紙・淡彩		27.0×24.0 cm
22	「猫がある庵は留守」	色紙・淡彩		27.0×24.0 cm
23	画帖「寄席めぐり」(「画帖いろいろシリーズ」)	和本	1913 (大正2) 年	作品25枚
24	画帖「寄席めぐり」(「画帖いろいろシリーズ」)	和本	1913 (大正2) 年	作品27枚
25	画帖「酒の肴」	折帖	1933 (昭和8) 年	21.22×982.8 cm
26	画帖「珍菓目食帖」	和本	1945 (昭和20) 年代	全60頁
27	画帖「千口」	和本	1957 (昭和32) 年	全99頁
28	画帖「干魚目食帖」	和本	1945 (昭和20) 年代	全60頁
29	「買いねこ」	折帖	1922 (大正11) 年	16.0×726.0 cm

〈印刷物〉

- 1 新作小唄第九編「別れの唄」装幀：河村目呂二 作曲：中山晋平 萱間三平 作詞：北原白秋
山野楽器店 発行 1925(大正14)年(初版 大正8年)
- 2 新作小唄第十八編「海の鳥」装幀：河村目呂二 作曲：中山晋平 萱間三平 作詞：吉井勇
山野楽器店 発行 1950(大正13)年(初版 大正9年)
- 3 ハーモニカ楽譜「和曲集」装幀：河村目呂二 シンフォニー楽譜出版社 編・発 1924(大正13)年
- 4 ハーモニカ楽譜「天国と地獄」No.14 装幀：河村目呂二 シンフォニー楽譜出版社 編・発
1924(大正13)年
- 5 「講談世界」表紙 表紙：河村目呂二 文光社 発行 1917(大正6)年
- 6 新活動写真画報「キネマ」第四号 表紙 表紙：河村目呂二 1917(大正6)年
- 7 会報誌「JAZZ-MANIA」No.1 装幀、編・発：武井武雄(非売品) 1931(昭和6)年
- 8 「JAZZ-MANIA PARTY」千社札
- 9 「東海道五十三次飛車栗毛」千社札 1930(昭和5)年

〈彫刻〉

- 1 大正目呂二人形「春の野Ⅱ」 素焼き・彩色 制作/販売：あいそめや 1917~1918(大正6~7)年
- 2 大正目呂二人形「春の野Ⅰ」 素焼き・彩色 制作/販売：あいそめや 1916~1918(大正5~7)年
- ※ 3 「目呂二人形 春の野」1対の意匠登録証・添付資料(コピー) 1924(大正12)年
- 4 「かまきり」 陶製 1944(昭和19)年
- 5 「魚と女Ⅲ」 ブロンズ 1942(昭和17)年
- 6 「魚と女Ⅳ」 ブロンズ 1942(昭和17)年
- 7 (うずくまり猫) ブロンズ
- 8 「猫」 石膏・着色
- 9 「MONEY=KEY(まねき)猫」(復刻版) 素焼き・彩色 原版：大正13(1924)年

〈書簡〉

○追分通信

- 1 河村目呂二書簡 清原健司宛 昭和24年11月22日
- 2 " 清原健司宛 昭和24年12月1日(2通)
- 3 " 清原健司宛 昭和24年12月4日
- 4 " 清原健司宛 昭和25年10月25日
- 5 " 清原健司宛 昭和25年10月28日
- 6 " 清原健司宛 昭和25年11月28日
- 7 " 清原健司宛 昭和25年12月21日
- 8 " 清原健司宛 昭和25年12月21日
- 9 " 木通庵(すの子)宛 昭和26年1月22日
- 10 " 清原ソロ宛 昭和24年(複製)

○来簡

- 11 荻原井泉水葉書 村龍興宛 昭和25年(6月28日)
- 12 田部重治葉書 河村伎仔子(すの子)宛 昭和40年4月15日
- 13 堀多恵子封書 河村すの子宛 昭和50年12月18日

〈写 真〉

○展示内で紹介

- 1 目呂二 東京にて 大正 13 (1924) 年 38 歳
- 2 猫玩具に囲まれるすの子
- 3 「東海道中飛車栗毛」出発の時 目呂二 44 歳、すの子 31 歳
「アサヒグラフ」1930 (昭和 5) 年 10 月 1 日掲載
- 4 猫像を抱く目呂二 1926 年 40 歳
- 5 作品を制作する目呂二。大垣共立銀行頭取の胸像を制作 1929 (昭和 4) 年 43 歳

○年譜と共に紹介

- 6 馬上の目呂二、三兄弟 岐阜にて 1910 (明治 43) 年 24 歳
- 7 淡島寒月邸にて、ドクロを抱く目呂二 1916 (大正 5) 年 30 歳
- 8 目呂二とすの子、猫玩具に囲まれて。1925 (大正 14) 年 39 歳
- 9 我楽他宗の人々 三田平凡寺が開創した趣味家集団に夫婦で参加した。
- 10 目呂二とすの子 猫たちに囲まれて
- 11 まねき目呂二 自ら招き猫と化す
- 12 目呂二アトリエ開き、三田平凡寺、雨田光平らと。1939 (昭和 14) 年 43 歳
- 13 追分に建てた木通庵。昭和 20 年に建て、昭和 34 年没するまで過ごした草庵
- 14 木通庵の目呂二と子どもたち
- 15 目呂二とすま子 木通庵の前にて

○目呂二アルバム

- 16 若き日の目呂二
- 17 目呂二一家 1912 年 28 歳
- 18 美校時代、朝倉文夫アトリエにて
- 19 東海道中飛車栗毛出発 1930 (昭和 5) 年 目呂二 44 歳、すの子 31 歳
- 20 故郷からの自然薯に喜ぶ目呂二
- 21 晩年、木通庵にて
- 22 追分にて草木を描く目呂二

〈書 籍〉

- 1 『随筆とスケッチ 目呂二抄』 河村目呂二 著 アポロン社発行 1974 (昭和 49) 年
- 2 句集『自画像』 河村目呂二著 アポロン社発行 1977 (昭和 52) 年
- 3 『原色きのこ 茸の採集と見分け方』今関六也 著 三省堂 発行 1942 (昭和 17) 年
- 4 俳誌「層雲」(コピー) 荻原井泉水 発行 1949 (昭和 24) 年 11 月号

ご来館いただきありがとうございました。

軽井沢町追分宿郷土館

〒389-0115 長野県軽井沢町追分 1155-8 電話・FAX0267-45-1466